

摺上川ダムの洪水調節効果

～河川の氾濫による被害から下流域の人々を守ります～

洪水の概要

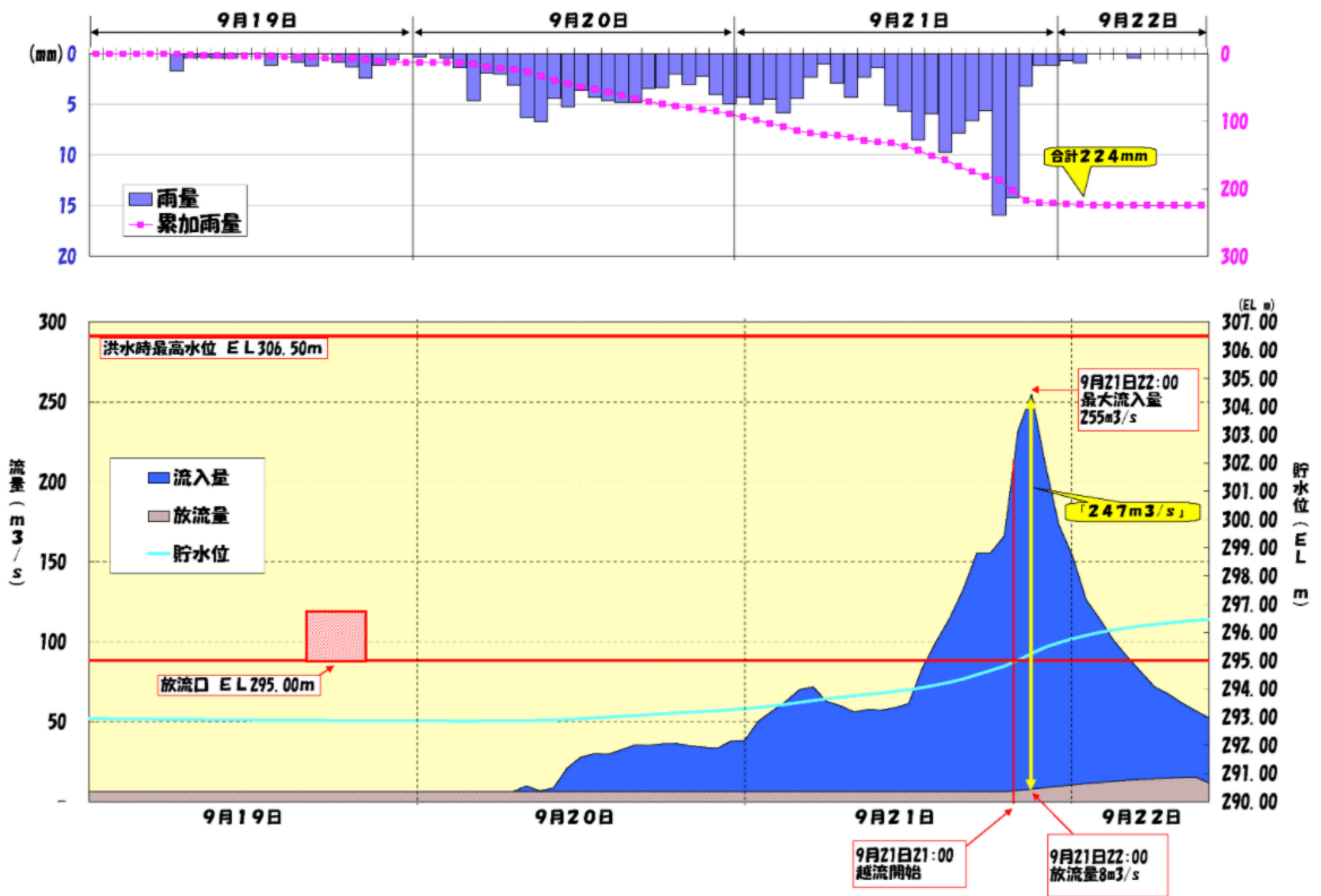
前線及び台風15号に伴う降雨により、摺上川ダム流域では平成23年9月19日7:00より雨が降り出し、9月22日2:00までの累加雨量は224mmに達しました。この影響により摺上川ダムへ流れ込んだ水の量は9月21日22:00にピークに達し、洪水量(毎秒100m³)を超える毎秒255m³を記録しました。

摺上川ダムの効果

今回の洪水でダムへ流れ込んだ水の量は最大毎秒255m³に達しましたが、下流河川に流した水の量は毎秒8m³に抑えられ、「毎秒247m³」の洪水をダムに貯水することが出来ました。この結果、摺上川ダム下流部の瀬ノ上地点での河川水位は、ダムが無かった場合に比べ約1m低く抑えることが出来ました。

洪水調節のグラフ

～H23. 9. 21 洪水調節図～



瀬ノ上地点でのダム効果

